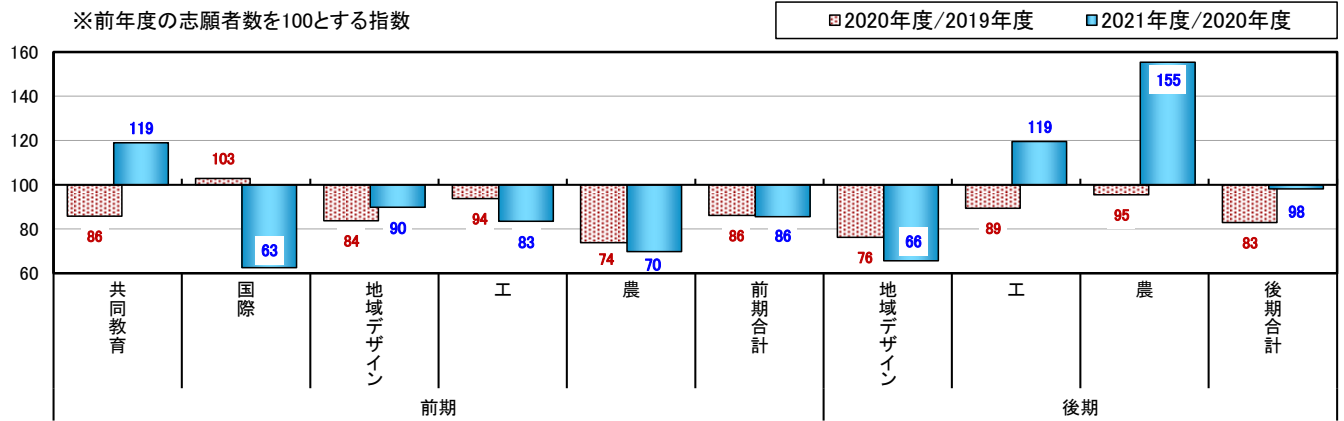


2021 年度入試状況分析【国公立大】

宇都宮大：個別試験中止の影響は前期に大きく 2 年連続減少 前期：-199 人 後期：-8 人



入試変更点 個別試験：コロナ禍対策により試験場での個別試験実施を中止
 共同教育<前>…系(分野)ごとに求める提出課題により評価
 国際、地域デザイン、工、農<前>…大学入学共通テストの成績を換算し評価
 全学部<後>…個別試験を課さない

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期はコロナ禍対策により試験場での個別試験が中止された影響から、199 人(86)の減少で 2 年連続減少、志願者数は 1,200 人を下回った。学部別では、特に個別試験での教科試験の比重が高かった国際、農、工が大幅減少。後期は元々個別試験では教科試験が課されていないだったので影響は小さく、8 人(98)減少の前年度並に留まった。

<前期日程>

- 共同教育(119)は、旧教育から引き続いて 2 年連続減少の反動で大幅増加。提出課題が課されたので、試験場での個別試験中止の影響はなかった。
- 国際(63)、コロナ禍による系統への不安と個別試験中止で大幅減少。
- 地域デザイン(90)は、減少で 2 年連続減少。学科別では、(社会基盤デザイン)(112)は増加、(コミュニティデザイン)(105)はやや増加。一方で、(建築都市デザイン)(67)は大幅減少。
- 工(83)は、個別試験中止の影響を受けて、大幅減少で 4 年連続減少。志願倍率は 1.9 倍→1.6 倍に低下。
- 農(70)は、個別試験中止の影響を受けて、2 年連続大幅減少。全ての学科で減少し、(応用生命化学)(96)以外はいずれも大幅減少。

<後期日程>

- 地域デザイン(66)は、2 年連続大幅減少。学科別では、(コミュニティデザイン)(129)は前年度半減近い大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(社会基盤デザイン)(23)は前年度大幅減少に続く激減で、志願倍率は 6.6 倍から 1.5 倍に大幅ダウン。(建築都市デザイン)(32)は前年度激増の反動で激減。
- 工(119)は、3 年連続減少の反動で大幅増加。
- 農(155)は、3 年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、(農業環境工)(173)、(生物資源科学)(169)、(農業経済)(168)は 1.6 倍以上の激増。一方で、(応用生命化学)(93)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少に留まった。